水源禅師法話集 87

（2018 年 5 月 1 日　山梨合宿 5 日目）

2019 年 3 月 5 日

一乗禅の会

ミャンマーの黄金仏像

目次

水源禅師法話

海印海潮音禅、阿弥陀の国へ行く方法 3
外と内の波紋が一体化する 5
瞑想をすればハダヤからエネルギーが出てお腹が空かない 9
偶然に文献が次から次と手に入る水源禅師 9
「ドゥダンガ」お釈迦さまの教えた苦行
１３のプラクティス 11
禅師が修行されたモラミンのパオ 13
「座る」という事は腰も精神も強くする凄いご利益がある 14
ガンジス川で両親の供養をされた水源師 16
仏教の影響を受けた西洋の哲学 16
空を体系化したのが「仏説・般若心経」 17
ボディ・ダルマから慧可へ、
そして６代目慧能へと法が伝わった 18
負けるべくして負けた日本 20
いつでも惑わされない様に！ 20
北伝、チベットでも沢山の素晴らしいお坊さんに出会えた 21
法を求める人は何処でも歓迎される 22
竜樹菩薩の中論と浄土宗は直結している 23
アビダンマの最終段階は正見＝right view 24
「ドゥダンガ」お釈迦さまの教えた苦行、１３番目 30
「般若心講義」より 32
火の神アグニと鳥居の秘密 33
アグニ様の三角形とは？ 34
座る事で、年をとっても腰がやられない 36

水源禅師法話

海印海潮音禅、阿弥陀の国へ行く方法

【水源師】

お釈迦様の異母兄弟の弟さんなのですね。そして難陀竜王というのは八大竜王の第一で、七つの竜の頭を付けているということで。ここを見たら、あの、摩尼珠を飾っていますね。旗に、摩尼珠。

というのは悟りをもらうという事で、それで、ウブドーのお寺、バリ島にあります。そこにもあった、摩尼珠。これ、仏教に非常に関係のある大地なのですね。知らなかったです。知らなかった（笑）。

ちょうど池があるからやってみようかなと思って。御経を読みますけれど、その後、波紋があるでしょう？波紋。池の波紋。それを海印といいますね。本当は海だったら明快に波紋が観えます。

この波紋をしっかり見ますね、こう、頭に入れて。そして、その後、目をゆっくり瞑ったら、今度、キラキラキラキラ光りだすわけです。で、その後、なぜか太陽が上がってきますね。で、太陽には目をくれずにただその、波紋の水色の、その海か池を見ていたら、突然エメラルドの宝石みたいなものが山のように上がって来ますから。で、その中に飛び込んで行けば、阿弥陀の国が見えます。

前回はその時に観音様がお出ましになって、皆さんをハスの中に入れたという事は、全部阿弥陀の国に生まれるという事。印を頂きました。まぁ、今回どうなるか、わらないけど（笑）。

まぁ、それでやってみてください。そのまま、やり方を教えますからね。まず御経を唱えて。はい。やってみましょう。まぁちょうど、マガダのパーリ語で御経を唱えるのもまた、ちょうどインドの、龍神様とか、お釈迦様の異母兄弟の、その弟さんの名前もナンダで。不思議とちょうど良のじゃないでしょうかね。

（読経）

【司会者】

先生ここ、龍魚諸鬼難って書いてあるじゃないですか。お魚、鯉とか池のお魚って竜の化身って。

【水源師】

はい、そうですね。はい、その通りです、はい。あの、鯉も特にそう。それで、あの、前回やられた方はそのまま続行して、えっと、初めての方は 15 分間やって、そして、どうだったか聞いてみます。

そして、また 15 分やってみてどうか。で、そのまま良かったら、30 分そのまま続行。で、その後、あの、もう一時間あるからちょっとゆっくりして、またそのまま続行してみてください。良いですか？

最初は 15 分。15 分、そして 30 分やってみて、まぁあと一時間、自分なりにやっていって。コツは、この池の波紋あるでしょう。出てくるでしょう。この波紋を見ることが大切です。

この波紋をしっかり見て、だいたい 5 分か 10 分でもジーッと見て、その波紋が頭に入ったら今度は目を瞑ります。目を瞑ってそしたら、青い海のように、こうだんだんと色が鮮やかになってきて、広大な海の中から太陽が上がってきます。で、その時に太陽は見ません。そのまま広大な湖か、ここの水を、池の水を見ていたら、そこの中から、エメラルドみたいな、クリスタルみたいな四角いとか、例えば山みたいなのが上がってきます。人によってちょっと違うと思いますが、また時によって違いますので心配しないで。その時に、エメラルドの中に飛び込んでください。それがスターゲートになってその、阿弥陀の国に入っていきますから。

だからこの時空はちょうど空想科学小説みたいなもので。あの、一般の常識では、あの、不可能だけど、ちょうど空想科学小説の事が御経に書かれて、その通りになっていくわけですね。

で、この 54 の太陽は一体になって動いているから、54 の倍が 108 になっているけども、えっと、54 とか 108 はただあるわけじゃなく、この星自体は全部スターゲートで続いているみたいですよ。

いつでも行けるようになっているみたい。だから私が、ペルーのワハラバハラでスターゲートで他の惑星に行って帰ってきましたけれど。そういう事で一般の本で書かれている事とは実態は全く違うし、過去にはそういう文化もいっぱいあったけれど、現代はそれを全部無くして、普通の心の問題、嘆きの問題、それは良いのだけれど、それはアビダンマをしっかり見れば書いてあるわけですね。

どういう風にして解決していけば良いか？それ全部外して、ただ文学的に悩んで、考えて、それじゃダメなのです。それをもっと一歩深めて、何故そうなるかを見なければ、いつでもこの苦悩の連続でサムサーラを繰り返しますよと。お釈迦様は仰ってますから。まぁそういう事で、じゃあやってみましょうか？

外と内の波紋が一体化する

【参加者】
先生、目を瞑って太陽は木の上から上がってくるような感じなのですか？

【水源師】
いや、私の場合は大体、ここではわからないけど、池が広がって、海みたいになりますね。キラキラ光って。で、その時に海の向こうから太陽が上がってくるわけですね。

【参加者】
地平線みたいな感じ？

【水源師】
そうそう。だから海が一番良いのだけども、まぁ海じゃなくても、この池の波紋をしっかり目に収めて、ゆっくり目を瞑って、それでさっき言った現象が起これればそのまま続行。起こらなくても頑張って。で、あの、やり方はそうですから、そういう風にやってみてください。15 分やって、また分からなかったら聞いてください。はい、じゃあお願いします。

【司会者】
はい、始めたいと思います。

【水源師】
波紋がどこかに出ますからね。その波紋を見て。キャッチしたら目を瞑って。それでやってください。

【司会者】
はい、じゃあ、始めます。

（瞑想中）

【水源師】
どうですか？何か質問あります？はい。

【参加者】
何も出てこなかったんですけど。

【水源師】
じゃあまた、波紋をしっかり見て、やってみてください。波紋を見て、それで、しっかりその波紋を見て、目をゆっくり閉じて、で、現象が起き始めます。私の場合は。あとで言います。はい、じゃ、また 15 分。

【参加者】
あの、波紋を念ずる、じゃないですけど。

【水源師】
それをちゃんとしっかり、こう、波紋あるでしょう？これをジーッとしっかりと。で、目を閉じて、この波紋とこれが、こう、外と内が同じ波紋が出たらOK。そのまま続行する、と。

【参加者】
あ、それで良いですね。

【水源師】
そうそう。こういう波紋あるでしょう？これをしっかり。で、外と内の、あの、心の波紋が一体化したら、そのまま待つ、と。

【参加者】
明確な波紋なのですか？

【水源師】
いや、こう、キャッチしたらそれを受ける、と。

【参加者】
揺らぎでも良い？

【水源師】
そう、歪んでいる様な波紋でも良いです。

【参加者】
あぁ、わかりました。

【水源師】
だからここの池にいろんな波紋が出ますので、その一つ、これと思ったらそれをキャッチして、カメラみたいにキャッチして、目を瞑って、同じく出たらOK。出なかったらもう一回目を開けて5分かそこら。で、しっかり映像が、撮れたと思ったら目を瞑って、出てきたらOK。それをまず何回も繰り返し。

【参加者】
わかりました。

【水源師】
良いですか？じゃあ、また。

【司会者】
15分始めたいと思います。

【水源師】
15分くらいで良いよ。長くしなくて良い。はい。

【司会者】
はい、じゃあ始めます。

（瞑想中）

【水源師】
皆さん、浄土に生まれますね。阿弥陀様が出てきて、今回は。前は蓮の花だったけど、もちろん皆入って、もちろん巨大な観音様で、髪は黒くて綺麗で、ここ、阿弥陀様初めて降りてきて、ここで一緒に座っていました。
だから、この切符を落とさないように。皆さん。そのまま精進してください。まぁ、阿弥陀の国に行きたくない場合はまた別で。あの、このまま精進していけば必ず、阿弥陀様がお待ちしています。
巨大な阿弥陀様で、赤い色でね。ちょうどカクサンダーブッダ様と一緒でした。ま、やっぱり御経を唱えたからかな。これだけ綺麗に見せてくれたのは初めてです。凄いですね。もう、最初からずっと出てきているけれど、2回目はも

っと強烈に、こう、阿弥陀様が一緒にお座りになって。じゃあ、そのまま実行してください。私は部屋に戻って。あの、その後また一禅ゆっくりやられても良いし。ここで研鑽してみてください。はい。

忍野八海　出口池

瞑想をすれば、心（ハダヤ）からエネルギーが出て、お腹もすかない

【水源師】

　では、いよいよ、お話しします。まぁ今日は皆さん本当にご苦労様で、えっと、お疲れだと思います。いや、私もこれだけ、激しく疲れたのは珍しくね、滅多に無いことで。いやーもう、ゆっくりしてもゆっくりしても、疲れて。

　あの、どうしてこんなに疲れるのかな？と思ったけど、やはり、あの、何回もお話ししたと思いますけども、あの、霊界に入れば食事がほとんどできないのですね。で、滅多に食べられないし。もう今日、皆さん瞑想したでしょう？

　あれは、チッタからも食べ物がいっぱい出るわけです。だから、食べなくてもね、こう深い瞑想に入れば、心で食べ物ができるので、それで長時間、断食しても座れるのだけども。で、皆さんがこう、一緒に座ったから、

　瞑想状態で、あの、多分、凄い、美味しいご馳走がいっぱい出てきたと思う。その、口からとって食べて、そのまま、もちろんプロテインとか栄養がありますけども。究極のところは、消化したそのエネルギーがそのスーパー原子炉になってね、不思議な、こう、火があって。それによって体の中にエネルギーというか、生命に対する食物のエネルギーが出てくるのです。それともう一つは心で、瞑想したらハダヤ（心）から同じエネルギーが出るわけです。

　だから、あの、長時間瞑想したらね、ほとんどご飯食べられなくなってくる。でも体はものすごく健やかで、力いっぱいで、元気は良いのだけど。ただ体がやせ細っていくくらいで。

　そんなに苦しくも思わないし、お腹も空かない。そういう状態で、それで、皆さんがもの凄く疲れたのだと思います。だから皆さんが、その、たくさんの、霊界の人たちに沢山の食物を供養したということで大変なご利益があるんだと思いますよ。

偶然に文献が次から次と手に入る水源禅師

　まぁそれで、観音様も出てこられ、そして阿弥陀様も降りてこられたと思うのだけれども。その、結局、この数日、いろんな大世界の宇宙的な事から、今度はいろいろ観音様のことをいろいろお話ししたでしょう？

　で、観音様は大宇宙的な事であるのが、おぼろげに分かってきたことであって、その、実在の私達のこの小さい 2000 年の間の話ではない、という事がちょっと分かっていただけたのか、と思います。

　また、えっと、法華経の中にも、この観音経の中にも、千億の仏を従えて、と言われているでしょう。で、あの、禅でも、観音様もとても大事な位置にあ

ります。だから印光禅師は、あの、今のシンガポールを作ったすごい方で、2300の舎利を出されてね。で、南伝の方にもいっぱいお布施して。北伝南伝関係無く。それから、キリスト教カソリックの方も関係無く助けていた凄い方でね。

で、印光というのは、実はその、阿弥陀の世界の事を表すのですね。無量寿光の。で、その大乗というのは、マハーヤーナは、正式な名前　ヨガカーラでありますけども。これが大衆部といわれているけれど、実は長老須菩提（Sudodana：釈尊が涅槃に入る直前の最後の比丘、インドの説話より：金剛般若波羅蜜教は大乗の核心、大乗の原経典消滅）が元祖で、一般の学説とは大きく異なります。

その、テラワーダと別れたのはたった 10 の規律の問題があって。で、その時に大衆部が大きくなって、この規律の問題をどうしようかという事の論争が始まってこうなったみたいで。その、初めは根本的な教えで別れたわけではないのですね。

で、だからその、ナーガルジュナ様がもう一回それを詳しく書いた時には、えっと、私のこの文献上で調べたのは、結局、私たちは南伝で覚えた法はね、このアビダンマ。十二因縁がとても大切な教科になって、それからまだまだ進んでいくのだけども。

それもまた秘密になって、あんまり言っても誤解されるから、大体、ナーマ・ルーパあたりかな。ナーマ・ルーパ辺りでおしまいっていうのもあるけれど。あんまりそれ以上は、それ以上の教えはストップしていますね。そこから先のことはしられていません。

また、ナーマ・ルーパまで行く人も珍しいし。それで、そこから初歩のナーマ・ルーパでね。過去と未来とそれを全部見た後に、もう一回、詳しく（四つの繋がりの時・空）ナーマ・ルーパを見て、その後で、正式なヴィパッサナーが始まります。

正式なヴィパッサナー。で、追求していくわけです。もっと鋭く。全教科のその力で。ですから、まぁ一般にヴィパッサナー、ヴェーダナーもヴィパッサナーに入りますけども。いろんな段階があって。

まぁそういうことで、最初の原点の修行の仕方とか、私たちは、私も分からなかったけども、こうしてやっているうちに体験を積んで、あぁ、結局そのデバダッタの五法とか十法とか、お坊さん自体もまたはっきり分からないわけですね。

そういう文献になかなか、又聞きで言っている方がほとんどで、実際にそれを文献で調べようとしたら膨大な数になるからほとんどしていないと思います。ところが私がこう、なぜか偶然にそういう文献が次から次へと手に入って。

「ドゥダンガ」お釈迦さまの教えた苦行、１３のプラクティス

それでもう一回おさらいしたらデバダッタの五法というのを説明しましたよね？それからいつもお釈迦様の 13 のドゥタンガ・プラクティスというのはデバダッタの五法より実はもっと厳しく、13 の厳しい苦行の仕方をお釈迦様は教えたわけです。

実はお釈迦様も教えたくなかったけれども、せがまれて仕方なく。というのはその当時、ブラフミンとか、ヨガ、その、ヒンズー教のヨガの行者がよく一生片足で立ってみたりとか、それから穴の中に人体全部埋めて入って、生きて出てきたりとか。まぁそういうスーパー・プラクティスをするわけですね。（お釈迦様は求道の時に、最高のヨガ行の水の中で、一昼夜すごしました。）

で、またヨガでも達磨大師様みたいに、自分の体を体から抜いて、それで置たりとか。そういう事まで達するわけですね。

でもお釈迦様はそういう神通よりは、法を求めなさい、という事で、あんまりそういう事を教えなかったけれども。やっぱり、その時代でもそういう風にほとんど物を食べないとか。そして、木の下に座るとか。で、寝るのも墓場で寝るとか。ね。そういう汚いところで寝るとか、そういう事の方が、格好が良かったのです。それで、お釈迦様の教団の人が、それで全部デバダッタの方に行ったわけです。人から物をもらって、こうして贅沢している、と言う事で。

あぁなるほど。そんなに言うのだったらもっと厳しい 13 のドゥタンガ・プラクティスという苦行の方法を教えたわけですね。まぁ、この前は第 4 番までいったけども、もう一回言えば、檀家から「新しい着物を受け取らないように」、と。使うものは結局、投げるような着物、そういうものを作り上げて着なさい、という。使うものは 3 つの衣ね。結局下と、上下と、これ 2 つ。もう一つ、ブランケット。この 3 つ。で、あの、南伝では、修行中、絶対にこのローブね。ローブという毛布みたいな長いやつは絶対に手放さない。24 時間、いつでも持って歩く、と。絶対に手放してはいけないという掟があるわけです。多分昔、よく無くなったとか（笑）。多分そうだと思います。

というのはその、衣というのは非常に高価なのです。で、あの、まぁお布施で金銀を散りばめたとか、綺麗なお布施の衣もあるわけですね。あの、このドゥタンガというこの教えは苦行だから、それは一切受け付けない、と。

でも一般のそういう、お寺では受け取っても良い、と。それで結局、お坊さんが一生懸命、修行すれば、修行に対して、そういう高徳なお坊さんにダーナすれば、やっぱりすごい福がもらえるのですね。で、災いも消たりとか。

そういう事でますます一般の方はお寺とかどんどん寄付していくわけです。あの、結局それは良い事だから。布施第一というパラミで。それで、あの、昔

から非常に、まぁ日本でもそうですけども。お寺で、日本でも沢山のお寺が出来る、と。出来ることによってお寺に行って、拝む場所ができる、と。

そういう事で、本当の、最終的には今、皆さんがこうして修行しているほうに繋がるという事で、やっているわけであって。

それで、まぁ第3番の、「食事も一回だけ、ピンダバーダでもらうだけ」、と。それ以上は受け付けないように、と。また、家に招待される、と。そういうことも絶対拒絶する、と。それから、えっと、家から家にもらいに行くには、「ただ一軒の家だけじゃなく、平等にもらっていきなさい」、と。

そのお布施、そういう食事を受けるということは、一軒一軒に福を与えるという、目に見えない福があるわけですね。何故かと言ったら、その、マハーカシャパ尊者はね、貧しい所ばっかり行くわけですよ。というのも、貧しい人を幸せにしたいという願いがあって。で、行った後は必ず金持ちになり、良い事ばっかり起こるわけです。それでお釈迦様に注意されてね。「金持ちの所にも行きなさい」、と。

そういう風にね、その、こう、「選り好んで行ってはダメですよ」、と。「あなたが周るところは全部、一軒一軒周ってきなさい」、と。「もらってももらわなくても」と。まぁ、そういう事でそういう規則をやったわけです。

じゃなければ、苦行者だから、もらえないような所ばっかり周ったらね、もちろん凄い福が来るけれども、じゃあ一般の人とか金持ちとか全部除け者にされるというのは不平等だという事で。平等のことで。そういう第4番。

それで第5番。あの、結局こういう風な苦行をするときは、「1日一回だけの食事。食べるのも午前中だけ」。私たちがやっていますね。1日に2回。あの、苦行をする場合は1日に1回でも良いのだけど、ところがね、一回沢山食べたら戻すのですよ。だから、1日1回分を私は、半分半分、2回もらいます。そしたら胃が楽なのです。中には沢山食べる人もいるけど、こう、修行が進んでいけば、ほとんど食べ物が受け付けなくなってしまいます。

ま、そういう、ことで1日1回と。2回も3回もとかいうのは苦行中だからダメ、と。で、南伝のかたでも実は夜 9 時過ぎたら食べてもいい、という事になっている。夜9時。なぜかと言ったら、若い人はお腹空くでしょう？

どうせ投げる物だから、投げる物をもう一回食べても良い、という経済的な事で。実際は午前中だけではないのですね。

実際に二回だけとか、一般的に言いますけど。私もここ二回でもう十分で、もう食べられないくらいで（笑）。

でも若い人はね、やっぱり体がほら、もう言うこと聞かないでしょう？そのエネルギーがあって。まぁそういう事で、私もよく勧められたけども、いやいや食べません、と言って。

夜 9 時過ぎたら食べても良い、と。それで一生懸命料理していましたよ（笑）。まぁそういう事です。まぁ、人間、そういう風な無理しなくても良いという事ですね。南伝でも。苦行じゃないし。ま、そういう事で。

えっと、6 番目。そして、入れた「ピンダバーダで入れるお鉢あるでしょう？そこには全部入れて、それで混ぜて食べなさい、と。これあれ選ばずに、混ぜて全部食べなさい、と。好き嫌いはダメです」と。それから、

その後ね。そういう風な「修行中は、苦行の時は、絶対に、一回受け取った食事以外は、いくら人に勧められても、絶対に受け取らないように」と。えー、7 番目ね。

8 番目。「森に住む人は、町とか村とか、そういう風なところは絶対に避けなさい」と。森で修行するという、そういう事を決めた人は。人里離れた所で住みなさい、と。寂しいところで。

それで 9 番目。えっと、「木の下で住む場合には、その木の下に屋根とか、それから壁とか、そういうものは絶対に無いように」と。木の下だけで住みなさい、と。まぁ、パオ・サヤドーもそういう修行をした様で、あの、モラミンで。マンゴーの木の下で住んでいたみたいで。でもその時は屋根とかちゃんとあったと思うのだけれどね。何故かと言ったら、マンゴーだったらね、食べられるからね、ポチッと（笑）。まぁそればっかり食べるわけにはいかないのだろうけれど。あぁいう高徳な方は村からお布施来るのだけれど。

禅師が修行されたモラミンのパオ

なぜか、今はモラミンのパオ本部も巨大になってね。私が住んで 5、6 年したらもうビルディングも出来る、凄いものだった。で、私が行った時も、デカすぎるなぁと思ったのだけど、もうクティもいっぱいあってね。山々に寄付して。で、最初のほうは、私が行って 14 年目に開いて、行ったのかな？

開放された後。だからあまり知られていなかったけど、ほとんど西洋の人が多くてね。東洋の人はあまりいなかったのですよ。やっぱり西洋のほうは速いのですね。そういう事を求めて。

で、まぁ、で、外国から来た人はもう本当に大切にされてね。一番先に並べるし。あの、こう、地元のお坊さんよりも。で、良いものばっかり当たるわけなのですよ。じゃなければ西洋のお坊さんなんかすぐに逃げ出してしまうからね。

私も行った時、カナダから来て同じ時に入ったら、若い子でね。それでガールフレンドも一緒に来ていて、どっちも頭丸めたけど、2 週間でギブアップ。2 週間で（笑）。

で、まぁカナダの人でね、修行よりも何を着るか、どういう風に着るか、そのことばっかり一生懸命やっていて。いやー、修行のほうが大切じゃないの？とは言ったけどね。

やっぱりその、だからそういう風にして、同じくさせたらすぐに逃げちゃって、だからやっぱり仏教というのは世界的に広めなきゃいけないから、まぁ、あの、えこひいきじゃないけど、そういう風に優しく、優しく、やるわけですよ。で、外国人の女の人が来て、本では私に家一軒与えられるというけれど、今は二人で住んでいるからどういう事か、とかね（笑）。そうなのですよ。

「座る」という事は腰も、精神も強くする凄いご利益がある

まぁ私も外国で教える時は、全く生活習慣も違うし、それで非常に、こういう事は絶対にやらせられないし。あの、修行の課程も遅いですよね。やっぱりソファーとか、そういう風に座れるから。やっぱりこう、この、座るという事は凄い事なのですね。

私の小学校でも、学校でも、いつでもイスでしょう？イス。こんな、なんで私たちはこんな野蛮な、こう、大地に座って、座布団とか、と思ったのだけれども。ところが何と、これは腰を強くする、精神も強くする。

それで病気にもなりにくい、という、すごいご利益があるのですね。だから西洋の人はね、50 歳あたりからほとんど腰やられてしまう。車でしょ。歩かないでしょ。イスでしょ、ソファーでしょ。

で、床に座ったらもう立ち上がれないからね。体重が重くて。でもまぁ、立ち上がる人は良いけど、もう 60、70 になったらほとんど腰をやられてしまう。で、ディスクを背骨に入れるとか、大きい手術されて、大変ですよ。

だからその、私達は体がこう小さくて、か弱そうだけど、これにもまた良い利点があってね。体重が重い西洋のかたは本当に重い病気をします。特に身体的な。

それで痛いから、痛さを避けるためにね、もう、マッサージとか、何とか、もう、毎日のようにして、楽々でいくから、ますます悪くなって（笑）。ちょっとでもこ強めに押せば、ギャーと騒ぐようなそんな感じで。で、まぁムービースターなんか格好は良いのだけれども、実態はもう映画の様ではないですね（笑）。

だからこうして座るという事はもう、大変良い事だけど、私ももう、小学校、中学校からイスの生活でしょう？西洋に行ってもそれで。座禅はなんでこんな地獄みたいな苦しいことをさせられるのかと思ったけれども、まぁ、お母さんの言いつけで 3 ヶ月は座りなさいという事で。まぁその、やっぱり観音様です

ね。

そういう観音様の教えを頂いて座ったら、今でも座っている（笑）。で、こういう風に観音様も出られてきてね。ま、そういう事で、7 番目、8 番目、えー、9 番目。

えー10 番目は、「そういう木の下もどこも住まないで。野原でくらしなさい、と。何にも無い所で座りなさい」と。まぁ厳しいですよね。雨風全て受けるから。寒さはわからないけど、ヒマラヤだったら寒いですよ。高度 5000 メーターだったらもう朝なんてもう、震えるような寒さ。もう、本当に寒い。雪も何もないけど寒い。まぁそこはそこで人が住んでいるのですね。良いところがあるのでしょうね（笑）。

で、11 番目は、11 番目はね、行は、「人を焼いた焼き場とか、そういう、死体を投げたというような、所で暮らしなさい」と。

チベットの若い僧侶たち・ネパール

ガンジス川で両親の供養をされた水源師

まぁ私もバラナーシにいてね。あの、あるじゃないですか、バラナーシで水浴びすれば、凄く高徳があると。

それで、私もそれを願ってね。なんか日本の小説家がそこに行って、本書いて、なんか、私もそういう話はもう、偉いお坊さまから沢山聞たり、憧れでね。

あぁ天竺に行くのだ、天竺に行けるのだと思いながら、そこに、その当時、会社に 7 週間休暇もらってね。行ったわけですよ。その理由は、私のお母さんが死んだので、供養したいから、供養のためにインドの旅に出ます、と。それでお父さんの、その、形見を持ちながら、行水場があって、お母さんの灰と髪の毛をもう一回焼いて、それでその水を浴びたわけですよね。ドロドロして(笑)。そんなもんじゃなかったですよ。

でもその、まぁ、そういう風な親孝行の旅だったのか、水の中をグーッと見ていたらね、その水中から、なんか、光の渦がザーッと巻き上がってね。それで虹色の光が大きく出始めるわけですよ。それは、そこでは吉兆で、それを見たいというその人達が行くわけですね。でも側では、死体を焼いた煙がまだ出ている。

で、そこで死を待つわけですね。そこで死ねば天国に行けるという事で。で、インドの金持ちだけが来るわけですよ。普通の人はそういう所で死を待って、その、ホスピスみたいに生活出来ないですからね。

ま、それが昔の行者たちは、open air の後の、結局、死体のそういう側で寝るのでしょうね。で、あの、バラナーシから郊外に、サルナートがあります。そこで最初にお釈迦様が説法をされた、と。で、またナランダ大学もその近く、いや違う、ナランダ大学はあそこ、ブッダガヤのほう。ちょっと離れています。

だから沢山の、その、バラナーシというのは、3000 年の宗教の町というけれど、お釈迦様の話を聞けばしょっちゅうその名前が出るから、あの、もう何回も何回も人類が滅びてもまだある様な久遠の大地だと思いますよ、宗教的に。

仏教の影響を受けた西洋の哲学

ただ 1000 年、2000 年の桁とは違う話だし、それでもう最初から巨石文明の、訳の分からない過去無量の時間で、月と地球のサイズと太陽のサイズをちゃんと分かっている、と。今やっと私たちが理解できる三角関数で全て出来ていると。そのサイズも。それは、絶対学校で教えませんね。実際そうなのだけれど。何故教えないか？やっぱり、ピタゴラス派の秘密なのですね。

それでアメリカの全ての設計は一つのポイントから出ていると知っているで

しょう。その名前はエリオットとか、エリスだ、エリス。L ひとつだけ余計に付いているけども、インド哲学者、この人が全てのヨーロッパの、あの、哲学の影響を与えた方で、逆にこの人がインドのほうに中論、というか空の、そういう事も行ったのではないかと。ところがこの人はインドに旅したわけですね。で、その、ガンダーラとか。

というのはアレキサンダー大王がそこに行って、非常にヨーロッパは仏教の影響を受けたみたいで。現在の西洋の哲学も、デカルト、カント、カントが非常にこの点を研究されてね。

それで、それが周り周って日本の仏教にきて、今度は、実は日本にしっかり空の体験出来るという事があるけれど、西洋では体験出来ないものだからね。

その、ダライ・ラマ法王にお願いして、あの、ヨーロッパではチベットテキストブックを参考にして、一生懸命翻訳して、理解しようとして。もう一つはサンスクリットテキストブックがあるわけですよ。その、アビダンマのその、重要なところが。

で、私も見たけれど、その、韓国にその、フランス第一の哲学者の息子さんが結局、チベット仏教に帰依して、それでお坊さんになって、またそれを辞めて、法話に来ていたけれど。で、アビダンマの一番大事な所を質問したら答えられないのです。で、それで南伝のテラワーダは、北伝はアビダンマが無い、と。で、私もびっくりして、そんな事ないだろうと思って、あの、ナランダ大学と、チベットは直結しているから。

空を体系化したのが「仏説・般若心経」

まぁいつの世に消え去ったのか。で、また中論のナーガルジュナ様も、その空の体験。空を体系化したのが、非常に簡単に体系したのがこの般若心経。色即是空空即是色。この所。

ここに一切の事が書かれているわけなのです。で、また外してしまったらあれだから、ついでにちょっと、説明しますね。えっと、南伝の普通のアビダンマは、十二因縁の事を説明したでしょう？

中論のアビダンマの方は、もう少し詳しく、27 まで追跡していくわけなのです。27。まぁこれを細かくやればまた、あの、大変な事になるから、ここで止めておきますけど。

その簡単な触りを、般若心経講義の、高神覚昇先生の、この方は明治時代に生まれて、他界されたのが 1947 年。私が生まれたのが 1946 年。1 年後に。昭和 10 年に書かれたのだけども、戦後、日本が負けて、その後 NHK の講座でこの事を、簡単に言われたわけですよ。

で、私も難しい本は大嫌いで読めないから、まぁこれが私の手本で、もう何百回も読んだこの本です。何回も何回も何回も何回も、易しい日本語だからね。読んで、読んで、読んで、それで、まぁ、で、やっぱりこういう方は修行しますからね。

やっぱり本当の事をいっぱい書いてあるのですけども。やっぱり、こう、学校で教えられても書かれているけども、ちょっと難しい事がたくさんあるから、なかなかこう、と付きにくいかも知れませんけども。やっぱり高野山大学でこれが教科書になっているって言っていましたね。

まぁこれも 20 年前で、今 10 年前で。今はわからないのですけども。まぁそういうことで、余談になりましたけども。えっと、このことも後でもう一回、詳しく説明しますけど。

で、十二因縁がやっぱり 27 に分かれて、もっと詳しく、ヴィパッサナーで見ていかないといけないわけですよ。まぁ、十二因縁をしっかり見るのも大変だけども。その前にナーマ・ルーパから全部見て、それでカルマ、因果関係、それから時間と空間のことも私、説明したでしょう。

ところがそのエリアは、体験するしかないのです。量子力学でも今、解るか解らない事で。

で、このエリアは、結局アインシュタインとかね、世界最高の人が実際に実験としてやったのがフィラデルフィア・エクスペリメントといって、映画にもなっているはずですけれども。で、それがやっぱり、その、私たちの体に非常に関係しているわけですよ。

ボディダルマから慧可へ、そして 6 代目慧能へと法が伝わった

だからその、マハーヤーナはヨガカーラという宗派で、今、大乗は。あの、この、座禅するでしょう？私達はヨガカーラ。で、これがナーガルジュナ様の直伝になるはずです。それで　ボディ・ダルマ様が、南伝の方を通って、ずっと旅して、中国に教えて、それで慧可様に伝授したわけですね。

その慧可様は、そのとき中国では南伝のアビダンマが流行って、もう理論派で、やっているわけですよ。それでその時、いや違う、と。体験上から言ったのでしょうね。それで、107 歳の時に、断殺されました。

それは因果で仕方ないわけです。というのは、言ったでしょう？あの、この方はその当時、もう、彼が説法すれば天から花が散る。それからもう、大地からは金キラキラが湧き上がるような、天女が踊るような、もう、そうしている人にボディーダルマが、「いや、あなたの言っている事は空論である」と。それで彼が怒って、達磨大師様の歯を折ったでしょう。それでその後、その話ちょ

っとしましたよね。

もうその後、すぐに地獄に呼ばれて、いや、そういう方がいるのかということで、生死を分かる。それで、じゃあその人にもう一回教えを乞いたいから時間をください、と。それで追いかけて、で、達磨大師様が、なんか、座っていたのでしょう。9 年。

あの歯を吐き出せば、数百万の命が死ぬから、中国がおかしくなるから、飲み込んだわけでしょう。それで、で、その、中国のほうの話では、彼は 9 年間、座ったという事。達磨様の側で、跪いて。座るのでなく、西洋式の跪いて祈る体型ですね。

こうして。で、最後雪が積もった時に、何の用か、と出てきて。それで、あの、いや、法を、いや、法をとか、謝りに来たとか、細かいこと分からないけども。じゃあ、君はこの雪を赤い花のようにしてみなさい、と。

それで、右手で左を切ったのかな。切った腕をとつかみ出して、それで血を撒いて、雪を赤色に染めたのです。よし、と。それでその時に強烈な痛みでしょう。その痛みはどこから来るのか、と。痛みが消えて、法を得たわけですよ。

その瞬間。だからそういう大師様になれば、とういうのはその時にカルマを取ってあげたわけですね。歯を折ったという。これは大変な事なの。法を持った人に触った場合には大変なことになるということを、何回も何回もジャータカで、私がお釈迦様のお話を解説したでしょう？そういう事なのですよ。

だから法を持った人には絶対に、触らぬ神に祟りなし、ということを覚えておいてもらって。また、だから法を持っている、持っている、とこういう人も、もう、阿鼻地獄に落ちるという事を平気でやるのだから、まぁ、狂っているのではないですかね？

というのも、法を持っていないのに法を説くというのは仏を殺すという事だからもう、大変な事ですよ。だからそう簡単に何を言っても良いわけじゃないわけです。これが因縁につながってくるから。

それで、最後はこの 2 代目、慧可様が断殺されて首を取られたわけです。それでその時の因縁が消えたわけですよ。もう、涅槃だからね。もう、アラハット様だから。

で、最後の六祖大師の慧能様が空を、結局ヒンズーの極意のミスティックヒーツというその、公案ですね。卵を温める、と。で、悟りを開く事で、53 人の善知識を作ったわけです。だから曹渓，曹洞、臨済とか広がっていったわけです。

負けるべくして負けた日本

で、さっき言ったように、最初の話に戻れば、その、現在のイルミナティのその真髄の、名前は後で教えますけど。その名前を付けて、ワシントン DC ができて。

そのメジャメントは､366 メガリスティックヤードが基本になっているわけですね。だから第二次世界大戦が始まる 2 ヶ月前にもう、その記念館を作る、と。戦争で勝つのは間違いなし、という事をちゃんと分かっているわけ。

なぜ勝つかと言ったら、日本の大本営部に誰が居たか今でも分からないわけです。GHQ は完全に分かっているはず。誰がそこにいたか。名前無し。だからアメリカのスパイが完全に日本を握っていたわけです。だから完全に勝つ、と。

だから全てが間違いの作戦をやっていたわけです。そういう事を日本政府が言うわけもないし、恥ずかしいし、やられたと。というのはこれが明治維新に関係してくるから。

だってアームストロング砲とか、あれ全部イギリスから来ているでしょう。今のシリア、リビア、全部そうじゃないですか。その連続なのですよ、ただ。それを連続じゃない、という手品を使っていろんな事を言うわけですよ。いろんな学者を使たり、こうだ、ああだ、と。

だから、そういう事に惑わされないように、と。だから一般の小さい中小企業の人はもう、真面目に働いて、それこそ立派ですよ、逆に。一生懸命。それこそ､「生活の中に禅あり」でね。やっている事で、あの、そっちの方がよほど素晴らしい修行されています。

いつでも惑わされない様に！

だからデカルト、カントの教祖がインドに行ってその法を求めたのですよ。で、特に現代の学者はどこにも行かないで本だけでしょう。弘法大師様も言われたじゃないですか。それはダメだめですよ、と。止めなさい、と。命を賭けても法を求めに行きなさい、と。でも行きたくない、苦いし (笑)。行ったって、現地語から始めて、もう大変でしょう。その気持ちは分かるけども。それで、その災いが私たちの今の文化だ、言っているけども。

結局平安時代の万葉とかね。江戸時代の元禄時代。それに頼るしかないわけですよ。西洋の方の何だかんだと 10 年以内に全部潰れて、煙のように無くなって。やるほうが無駄という事です。

で、それが、さも良いようにやっているけども、めちゃくちゃで。あの、私の若い時に見た寅さんの映画の方が余程、なんと言うのかな、楽しいし、その、

純粋で。

で、それが、デカルトさんが、若き日のウェルテルの悩みというのを、私、中学校の時に読んで。その時は、学校では女とかそういう事は考えるだけでも、もう、ふしだらで、女々しくて、という風に教えられたから、若き日のウェルテルの悩みを読んで、いや恋して、女にこう、なんとか、「えーっ？そんな聖人君子がそんな事を考えるの？」と思った。それからもう考えがコロリと変わってね。だからそういう風な偉大な人の本は本当の事を書いているから助けになります。

ただそれが、それを分かった風にもう今はもう、誰でも何か肩書きを付けて、その、何だかんだと、マインドフル呼吸とか何とか。本当に体験されたことが、体験上やられるのが良いのだけども。それ無くしてやった場合には、あの、やっぱり後ですごい因果が来ると思いますよ。その方はあと 10 年、20 年して、どこかに隠れて、一人寂しく死んで行くのだけど。一時は華やかにされて。

だから、じゃあ何の為にそれをするか、と。それより、畑を耕して、まぁ苦しいかもしれないけど、食べていけば良い。そのほうが余程人生としては実りがあると思いますよ。そういう大都会に住まなくても。まぁ、それはそれなりに意味がありますけどね。いろんな文化も入るし。

北伝でもチベットでも沢山の素晴らしいお坊さんに出会えた

そういう事で、11 番。そして 12 番目。与えられた、あの、「どんな与えられた場所でも、それに満足して、そこで住みなさい」と。寝起きしなさい、と。

で、私もミャンマーで御殿のような、良いベッドを差し出されて、なんか。そしたら私よりワサが大きい人が来るわけですよね。失礼ですけど移ってください、って。「あ、分かりました」と。そうしなきゃいけない。素直に。

まぁ、その人も森で修行して 14 年とか言って、遊びに来てください、と。いや、まぁそしたら皆さんに会えないからね（笑）。そうして、そういう中で一生懸命修行したら、カンボジアでもお坊さんがものすごく気に入って。「その昔、私が小さい時、大和尚さんは空中を飛んでいた」って。そう言っていました。

で、自分もこのお寺から、マオ山、と言うのですね。そこから道路を作るためにせっせ、せっせと、10 キロくらいから、5 キロくらいの道を一人で切り開いて。で、ここのお寺には 2000 種類の果物の木があるから食べ物は困らない、と。だからその、南伝は南伝で素晴らしいお坊さんもたくさんいるし、北伝も素晴らしいお坊さんがいるし、チベットにもたくさん素晴らしいお坊さんに出会えました。

法を求める人は何処でも歓迎される

中国でも共産主義でその、滅ぼされたけれども、若いお坊さん方がね、頭剃って、それで、見よう、見まねでやっていましたよ。あの、弁当一つの箱でご飯食べて、後はずっと座っていたけれど。

やっぱり先生がいないという事は、大変つらい事ですね。それで台湾の偉いお坊さんが一生懸命先生を送るけれどもね、やっぱり見ていたら、一旦糸が切れてしまったら、なかなか難しいと思う。だから私が、五台山、ウータイサン。あの、善財童子の、文殊菩薩様。

文殊菩薩様は一切の経典の法を教えるというすごい菩薩様なのですよ。文殊菩薩。ここ。普通は写真撮らせないけれども、なぜかそこの偉いお坊さんが、この写真撮っても良いですか？と聞いたら、「はい良しいです、撮りなさい」と。

で、地元の中国の人が「撮りたい」。「いや、ダメ」って（笑）。「なんで外国人に撮らせて、私は中国人で」ってそう言うわけ。まぁ日本も一緒だけど。

だから法を求める人はどこでも歓迎されるのです。やっぱりそういう、五台山、何も無いですよ。3000、4000 メーターで、その雪も降るし、暑い時に。少林寺もそうだけど。その上のほうは何も無い。木も無い。岩だらけです。

そこで座っていたのだから。で、その少林寺からずっと上がって行くのに 2 時間か 3 時間かかったかな。山の麓の中に祠があって、そこで私、座らせてもらったけど、いやぁ、凄いものでした。で、ズーっとインドから追跡してね。そのあとは、クァンドン（広州）から、そのあとトンファン（敦煌）、トルファン。シンジャン（中國トルキスタン、ウイグル）。あそこまで行って。で、その先は、光臨伝、に書かれて、そこを通ってインドに帰った、と。

何と今後行く、カブールの、メスアナックという所に、玄奘三蔵も来たし、ボディ・ダルマ様も来た、というのですよ。明快に書かれている。

【水源師】

メスアナックという所。だから、いや、私そこに行ったら、死のじゃないかなと一瞬思ったけど、いいや、どうせ死んでも良いや、行ってみようって（笑）。

それほどの光栄を受けるしね。またビザもそう簡単に出さないのですよ。それが運良く、アメリカの中枢の人が、紹介状を書いてくれて、直ぐに出してくれました。

【参加者】

それは、なかなか取れないのですね。

【水源師】

取れないですよ。詳しく聞かれる。何のために？って。誰が？どこに？と、ものすごく詳しいよ。で、紹介状を出した後、「まぁ、よろしい。何日？」と来た。なんか取れるかどうかわからない受付で。(笑)。

まぁ、後は優しくして、「はい、どうぞ、どうぞ」って。すぐくれました。まぁ、そんなもんですね。その、ツテというか。平等じゃないのですよ（笑)。まぁ平等じゃないがゆえに、こうして上手い事、回り回ってここまでこう来ているけど。

で、そのボディ・ダルマ様といったらもう韓国では神様ですからね。今の曹渓宗の。で、そのお坊さん方の、通度寺っていったら凄いですよ。私、若き日に会われた方丈様だけれど。まぁ、すごいエネルギーですね。普通は会えないのだけど。で、なぜかその時にその、月下スニム（和尚様）といったらもう、法王様ですよね。その韓国とか、仏教界の、大乗では。同じ御殿に泊らせて、頂いて、もう王子様みたいな食事出されてね。まぁ将来予言されたのかどうか知らないけど、こういう風な私は一生、まぁ、お使いで。下僕で。お布施するくらいかなと思ったら、何とこんな事をやっているわけです（笑)。

竜樹菩薩の中論と浄土宗は直結している

その昔、ミャンマーに行った時、あなたは二つの法を持つ、と。二法を受ける、と。つまり、マハーヤーナと、テラワーダの二つの二法の事だったのですね。だから二つの蓮の花を持ちます、というのはこの事。

で、今観たら、なるほど、と。そういう事で、どんどん解析していけるわけですね。中論のこの、ナーガルジュナ様の禅が、今の浄土宗と直結しているわけですね。

浄土真宗、浄土。だから私が高野山に上がった時、何故かね。その昔、親鸞聖人が修行した、そのお堂で私が修行していたのですよ。私、若い時。それはもう一般的には違うというけど、高野山の方では、そうですと言われています。

で、その、法然上人は、その上のほうで修行されていたわけです。だからその、浄土真宗とか、浄土宗は座らないけれど、あれはちょっと間違いだと思いますよ。座っていたと思います。私のその、体験からすれば。

そして、座るのが嫌だから、「まぁ、いいや。座らなくても、何でも阿弥陀に行くのだから」とか。で、それで、博士課程にある方に、もし、あなたが言うのが本当だったらその教本を見せてください、と。阿弥陀を唱えればそう簡単に行けるから何をしても良い、と。

無かった。すぐ辞めてしまった、大学。まぁ、そのほうが良いよ。何故かと

言ったら、それをやって回教師になって、それで行ったら大変なことになりますよ。ただ私はそのままボンクラだから、ズケズケ言うからね。

その教本を見せてください、って言ったら、探した。無かった。だからその、過去 2600 年から、やっぱり最初の原点に立って、お釈迦様が何を言われたかという事を。書かれた文献しか無いけど、それを頼りに、私が、またそうだろうなという事を今、言っているわけです。

アビダンマの最終段階は正見＝right view

で、またお釈迦様はこう言われた、と。ずっと見て。で、それにはやっぱり、そういう風に禅でしっかり座って、それで正しい目で見る必要がある、Right view＝正見という事を説明したと思います。長々と、ある合宿で。

やっぱり最後に来るのは後で言いますけども、その、アビダンマの最終段階は Right view。正しく物を見る、と。南伝ではそれは言っていない。当然正しく見えるはずだという仮定で教えているから。

だからその、南伝では十二因縁がもう、朝から晩まで唱えています。それは北伝の、マハーヤーナでは、ナーガルジュナ様がもっと詳しく体系化して、27 にして、それを、アビダンマを一般の人にわかるように般若心経に書かれたわけです。

で、般若心経は、慈悲の塊なわけですね。これによって涅槃に達せられるという事で、般若心経自体が、もう観音様自体だからです。だから、観音様は阿弥陀様を乗せています。

だから今日、出られて、観音様から降りてきた、と。だから宗派に捕らわれるという恐ろしさがありますよ、ということを、私が言いたいのです。それにもう、そうなったらプロパガンダ、イデオロギーになってしまって、宗教じゃなくなってしまいます。

それで、そういう風な、あの、ギリシャの哲学者も 2000 年以上前に、インドに行って、その、ガンダーラ、バーミヤン、それから、カブールに行って勉強したのでしょうね。そこで中論が体系化された、と。

で、その出た所はハイデラバードという、その、ナーガルジュナ様が生まれた。そこから体系化されたのが今から 2000 年くらい前ですね。それで、その後、護摩焚きの火の使い方も取り入れて、それでそれが日本に渡って来て、高野山で今でも行をされています。で、その行をやれば本当にすごい現象が起こります。その、不動明王様も出てくるし。それで私が一番不思議に思ったのは、青不動が出てきて、聞いたこともない。そしたら何と、日本の最高の守護神が青不動なのですね。だから天皇家の何とか。

【司会者】
青蓮院？

【水源師】
青蓮院。あれは天皇家のお寺で、一般のお寺じゃないのですよ。だからあそこに親しく話をして、招かれて、Ｇさんのおかげでね。で、まぁその、昭和天皇の、奥様の実弟が親しく、私を迎えてくれまして。

やっぱり、この世界になれば、法を持つのがもう最高の事で、親しく、最高の事であって、名誉、地位とか、それは関係ないわけです。ところが一般の衆生世界では、あれはこうだ、あれ何とかでこう、蔑たり、本当に慈経に書いてある通りです。

止めて欲しいね、こういう事は。いつまでも、何だかんだと、わけのわからないことばっかりやっています。で、自分を潰すという事だから、実際は。そういう皇后陛下の実弟が、私にものすごく篤くおもてなしして、頭を下げてくださいました。二回も。そういう事はあり得ないでしょう？平民が頭下げるはず（笑）。

そういう風にね、そういう方のほうが、逆に深く研鑽していますよ。

で、分からない私達が、なんか肩書きであーだ、こーだって。で、人をもっとバカに、目暗が目暗を引き連れて行くという、現状です。

もう、いい加減にしなさいということを高神先生が、戦後、すぐ言われて、1947 年に他界されましたけど。

54 歳の年ですね。よほど苦労されたのでしょうね。おかゆをみんな食べながら。でもその後すぐに、これから日本は良くなるから一生懸命頑張りなさいという事を書きますから。それが今見たらみんな忘れ去ってしまっています。

で、今また、第二の大戦に入ろうとしているわけですよ。それは私、昔予言していたけど、こうした第二の大戦やるよという事、敗戦になるよ、と。まっしぐらに進んでいくのだから。まぁ、いくら言っても仕方ないし、

まぁ瞑想をして行くのが一番良いし、もう全てマヤ。マヤカシ。だから正しくモノを見てください、ということを、合宿で言って、やっぱり私はこういう文献知らないですよ。もう、最後の一番大切な所。ここ。

27 の解析で、最後は、どういう風にして正しくみるかと、ちゃんと書いています。そういうことも誰も解説していないでしょう。これはね、私でも手に入る文献。ところが中論とか、漢字で書かれたものは、もう頭グワーッとなって。

頭痛くなるから読みたくない。というのは、サンスクリット語は、インド・ヨーロピアン語でね。直接書きやすいのですよ。またチベットも、その部類に

入るから、結局スラスラと英文に訳されるわけですよ。

で、もう今から 200 年前にドイツでは完全にパーリ語の経典を全部訳している。ただ体験が無いだけで。それでドイツの若い人が熱心にパオに来て、やっていたけどね。一生懸命。で、またチベット仏教も熱心にやっていた。で、あっちの学者が言っていたけど、私は朝から晩まで仏教の経典を読んでいます、と。

そりゃそうでしょうね、そこに秘密が全部書かれているから、そういう学者が、日本ではちょっと聞いたこと無いけどね。ただ、岡潔さんは、数学の学者で私が非常に憧れた方。後で見たら、毎日瞑想していたのですってね。

学校の教壇に立つ前に、30 分は瞑想して、それから研究所に行くとか。だからカナダでも裁判官とか、高級官僚たちには必ず夏季合宿で、瞑想を教えると言っていましたよ。

まぁ日本でも、そうでね。その当時、敗戦後、全国の中学校の校長先生を集めて、その、1 週間、禅講座させて。

それで、中学生の先生がたに、ご飯とか与えて、この箸を与えて。「この箸を必ず使いなさい」と。そしてその後、「君たちは中学校の校長先生で、未来を作る人でしょう」と。「この中に 3 人の校長先生が、箸を二回もらいに来ました」と。「これ、どういう風にして将来の日本の若者を育てていくつもりなのか？」とか、すごく怒ったみたいですよ。

たった箸一つでもちゃんとできない人間が、どうして人を教えられるのか、という風なのが禅の真髄で。ただきっちり座ったというだけではないわけです。

で、まぁそういう積み重ねの上において、今度は今日、みなさんと一緒に座った阿弥陀の世界に行けるわけなのですよ。で、今日、Ｃさんが、緑の宝石のオベリスクを見たと言ったでしょう？その意味、わからないでしょう？シュエダゴンはいっぱいオベリスクあるじゃないですか？

【参加者】

シュエダゴン、ヤンゴンの？

お釈迦様と同じ色の衣を着ている水源禅師

【水源師】

ヤンゴン。あったでしょう？おぼろげながら。行ってごらん、いっぱいありますから。カイラス山、あるでしょう。遠くから見たら巨大なオベリスク。という、涅槃の世界はそこにちょっと繋がっているのです。

つまり、エジプトの究極の久遠の世界の、その世界と繋がっているわけです。だから、私、頭を剃るでしょう、こうして。だから、エジプトのお坊さんはみんな頭を剃っているのですよ。衣はただ白いけど。弘法大師様も白い。

というのは、仏だけがこの衣を与えられるわけです。だからただの衣じゃないわけです。で、お釈迦様は本当にこの色の衣を着ていました。ただある色ではないのですよ。形じゃなく。だからその、私はパオを出た時、すぐ取り払おうと思った。

こんな、ややこしい、もう、そう簡単に比丘になって何とかとか思ったけれど、未だにこれを着てね。いやー、世界を歩のしんどいですよ。衣を着て歩のはです。だからまぁ、こういう時はここだけ、とか。

もう適当に、マハーヤーナスタイルでやっていますけどね。まぁ、怒られるかもしれないけど。まぁこれを着て、エクアドルのキトの首都で歩いたら、みんなこう見ていたしね、窓から首をだしてましました。

で、これを着て、私の生まれた弘前の故郷で歩いたら、もう車からみんな、こうして見るしね。まぁ韓国ではこれを着てもそうじゃないのですよ。あぁ、お坊さんだなぁ、と。仏教国で。だから仏教国では、まぁ日本も仏教国だけど、これは滅多に見られないですからね。

あの、あっちで気楽に。中国も意外と気楽に。でもダライ・ラマさん、法王があんなことしたから、やっぱり、税関通る時はね、厳しく見られるから。いや、それを着て行かないでください、って止められてね。

その、日本の素晴らしい方が、中国通の方。いや、民間の服で行ってください、と。言うわけなのです。それで入っていって。で、チベットのその、モンゴルのお寺に行ったらね、中ではチベットの服を着て一生懸命やって、

で、出てきたら、あれ？ベースボールキャップ被ってね（笑）。アメリカの T シャツ着て、英字が入っていて。へ？いや、お寺の中と外は違います、というわけです。あぁなるほど、これもなかなか良いなと思って（笑）。

だから私たちはもう、規則でがんじがらめのほうが格好良いと思うけれど、でも、そうしたらその昔、イスラムが来た時、1 日に 30 万人のお坊さんの首が飛んだって。それからみんな毛を生やして。ヨギの変装をして、400 年間篭っていた、と。

で、この般若心経のこの御経もね、いやーこんな素晴らしい御経、どうして手に入ったのか、と。いや実は、その昔、韓国か中国のお坊さんが訪ねていって、で、ある谷間で老人に出会って、

そして、その時に受け取った御経だと。まぁ、という伝説なわけですね。実際はカブールの、中論はそこで完成されて、それでギリシャにも渡って、現代のフランス哲学、空論ですね、エンプティネス。空。空。

それを解析しようとするけども、これは体験しかない。で、その空を体験しながら、今度はこういう風にして、Right view。正しい目でもって、私がこうお話をしているけどもね。じゃあ、私のお話はもう空を飛んで、空中を飛んで、まぁ、訳の分からない事を言っている、と。

まぁそれが一般の、世間の常識なわけです。その常識が、今、日本がもう第二の敗戦にマッシグラに突っ込んで行っているからね。もう去年は危うい所で、アメリカと北朝鮮がもう本お互いに気でやろうとしていたからね、そしたら日本は崩壊。世界も崩壊。

【司会者】

今の音、自衛隊の演習ですか？

【水源師】

何ですか？

【司会者】

自衛隊が演習してた、かもしれない。

【水源師】

ん？何し、てた？

【司会者】

音がボン、ボンなっていました。

【参加者】

この時間にやらないでしょう？

【司会者】

やらないですかね、、、、、？

【参加者】
ドン、ドン　いっていましたね。

【水源師】
あ、そう？なんか言ってた。

【参加者】
先生がお話になっている間、グワーングワーンって。

【司会者】
大砲の音みたいな。

【水源師】
神様が喜んでいるのじゃない？ボンボーン、ボンボーン、って（笑）。

【参加者】
（笑）

【司会者】
夜にね。

【水源師】
神様が喜んでバンバーンバンバーンって。自衛隊いるわけないよ、ここは。あ、自衛隊の人が、この富士の裾野で演習していると。それで、日本の自衛隊の人がテントに入った時にね、アメリカのジープとか戦車が突っ込んでくるって。めちゃくちゃするみたいだよ。
まぁ、私は反アメリカじゃないのだけどね。ただ、そういう風にもう、uneducated people がいっぱいいるから。もう面白半分で行くのでしょうね。テント潰して起こしてやるとか。
まぁ、知らないけど、まぁそういう事で。

「ドゥダンガ」お釈迦さまの教えた苦行、１３番目

最後の 13 番。最後は最後の段階は、「座ってメディテーション。例えば立ってメディテーション。それから歩きながらでも瞑想。寝るのは座るだけ。横になってはいけません」と。

というのが 13 の瞑想の方法で。で、言ったでしょう？何とかティッサがアラハットになったから、私は絶対立って寝る、と。で、またそこで板を外して、大怪我をして、それでお釈迦様が次の行事にいけなかったと。

やー、実は彼は前もこんなことをしていたのだよ、とお釈迦様がお話して。だからこれは最高の、行の方になればそうする、という事で。私もシャーリプトラ、マハーカシャパ様みたいに、今度ドゥカンガやってみようとか言って、絶対に寝ない、とか（笑）。そうしたわけです。ま、そういう風に、まぁそんな事、しなくてもいいのに。

あ、ほんとだ、ドーンドーンいってるねぇ。

【司会者】

なんでこんな時間にね（笑）。

【水源師】

私の法話の時に、まぁ喜んで空砲をあげてくれているのか、ボーン、ボーン、ボーンって（笑）。ま、そういうことで、じゃ、時間まだ大丈夫？

【司会者】

はい。

トルコのオベリスク

「般若心講義」より

【水源師】

じゃあまず、般若心経講座の一回、ちょっと読んでみますね。

「一体仏教の根本思想は何であるかということを最も簡明に説く事はなかなか難しいようではあるが、これを一言にして言えば空の一字に帰すると言って良いと思う。

だが、その空は仏教における一種の謎で、言わば公開せざる秘密であるということができる。何人にも解っているようで、しかも誰にも本当には解っていないのが空である。けだし、その空をいろいろな角度から、いろいろな立場から言い表しているのが仏教という教えである。ところで、その空を心経はどう説明しているかというに、色即是空、空即是色、の二つの方面からこれを説いているのである。」

という風に、まぁここだけで終わっておきましょう。何故かといったら、また全部言ってしまったらまた頭がこんがらがるから。

で、結局、じゃあ空は体験出来るのか？と。空は何もないから体験出来ないはずだけど、体験できます。

で、体験出来る事によって、その空と、ルーパ。無ではないですよ。ルーパと空の関係。これはね、十二因縁をやる過程において、因果関係とか、ルーパの事においてそれが見えてきますね。時間と空間の解析。

それはパオでは教えない。私自身が時間と空間に非常に興味があったから。アインシュタインの理論とか宇宙の構造。それで私は解析していて、おぉなるほど、この宇宙は量子力学であって、その、パーティクル（粒子）、アインシュタインのパーティクル理論とはちょっと違うな、と。

それで今は今流行りの量子コンピュータというのが、今大騒ぎして作っていますけど。だから仏教というのは、それほど凄いもので。

で、ある偉いお坊さんが私にこう言いました。これからの仏教は宇宙工学とか、物理学とか、そういう事をしっかり分かっていなければ、本当の仏教は理解できないですよ、と。ただ座ってもただ座っているだけで。なにも、一生ただ座っているだけでは何も法を得ないよ、って私に言っていました。

という事は、それで私がいろいろ、一般世間では阿呆が言っているような事ですわね。ところが、実際は全部、こういう凄い経典に書かれているけども。一般の人がこういう経典があっても読めないですよ。読んでも体験がないから解らないですよ。

それで一生懸命、経典仏教をやるから、ますますおかしくなってしまって、ますます自分は何でも知っている、と。

それで自分が知っているのは良いのだけど、知っているという事でまた他の人に言うという事は止めなさい、と。

それは実際に実証した後では良いけど、実証しないで言った場合には、今の現在の日本仏教の現状になって、もう一般の方はどこに行ったかわからないというようなのが現状でしょう？ただ拝めばいい、と。確かにそう。観音様を拝んだら、実体だから。だけどその、純粋な心で拝めばそれは良いのだけど、なかなか出来ないでしょう？

だから高野山で大金持ちが金の、なんか、金でできた提灯じゃなく、何ていうか。

【参加者】

灯篭？

火の神アグニ様と鳥居の秘密

【水源師】

灯篭灯篭。を、ずっと飾るでしょう？ある貧しい女性がね、お金が無いけど、たった一つ。灯篭も無いけど、それで捧げに行ったわけですよ。高野山に。そしたら金の灯篭の中の炎が全部消えて、それでこの貧しいおばあちゃんの炎だけが、ろうそくだけが燃えていた、と。

という風にね。金知恵だけじゃなく、純粋さなわけですよ。で、あの、マハーカシャパが、おばあちゃんの所に、貧しいところに行って、助けようと思って、何でも良いから恵んでください、と。いや、何も無い、と。水しか無い、と。じゃあ、その水を恵んでください、と。その、コップも無い、と。あるのはこの割れた板の瓦しかない、と。じゃあそれで恵んでください、と。

それで恵んで、そのおばあちゃんがその後、裕福になった、と。それでまた同じような話なのですね。

その、インドでも大富豪の権力者の王様が、キンキラキンの灯篭を寄付して灯したけど、その、一生懸命、一生懸命、お金を貯めて、お供えしたその灯篭の灯だけは消えなくて、王様の灯も、他の灯も全部消えた、とか。

で、その火というのはアグニ様なのですね。あの、高野山では護摩焚きをするときに、第一に、アグニ様が三角形。

で、ボロブドゥールに行ったら、成道する前に、お釈迦様は三角形の、そのサインの下で座っていますよ。だから高野山では三角形。アグニ様。そのアグニ様が出ない限りはこの地上では何もできないわけです。

それは中国では天帝と言いますね。白い髪をした、白い髭を垂らした。で、

韓国では、天下大将軍、地下女将軍っていたでしょ。二つの柱。あの天の神と、それから地下女将軍と 2 つの柱を立てて。

それが日本の鳥居の事です。それからドンバ・カルチャーって言って、中国の山奥の数千年前のその手法は、全部絵文字で表すのですね。一時有名になったけど。そこはやっぱり鳥居形式。二つ。女神男神。その原型はソロモンの神殿が二つ。必ず柱があるわけです。それは、昔は女神男神の柱を、後で、男性と男性の柱に挿げ替えたわけですね。それがだから今のメイソン、イルミナティの神殿には必ず柱二つ。

で、その数学的な解析では、アヌアキという宇宙人の方がその原型。45 万年前から続いてきているから。生命体が 4 万年、3 万年という、王様の寿命があるでしょう。だから私は百年。もうアリみたいなもの（笑）。

それでなんだかんだと言っているわけですよ。もういい加減にしたほうが良いよ、って。それでダーウィンの進化論でごまかされて。もう何もかも誤魔化されて。

で、その、えっと、ギリシャのその哲学者が、それがもうその名前が、ワシントン DC のポイントになっているから。その宗派が。結局ピタゴラスのシークレット教団のはず。それが今でも続いているから、ピタゴラスはあれでしょ、五角形でしょ。

昔から。五角形なのですよ、そのサインは。ペンタゴンその通り。何も変わっていない。という事も踏まえて、仏教の涅槃の世界が、エジプトのオベリスクに関係するから、あなたが見たのがエメラルドの巨石のオベリスクでしょ。そういう事です。良かったですね。おめでとうございます。

アグニ様の三角形とは？

【参加者】

仏教で三角形って、さっき仰ってたじゃないですか？

【水源師】

おう、そうそう。だからボロブドゥールでこう。

【参加者】

あれってどういう意味なんですか？

【水源師】

アグニのこと、アグニ様。護摩焚きでやる最初の。最初三角形で組むのです

よ、火を焚くとき。だから火と三角形。

【参加者】
その三角というのは何か、何なのですか？何なのですかって言うのも、、。

【水源師】
三角は 180 度。円の中に 180 度であって、これから全て始まる、そしてあの、えっと、言ったじゃないですか最初に、曼荼羅の事。おぼろげに覚えていますか？

【参加者】
はい。

【水源師】
この宇宙は全てそこから始まるというから、メイソンも最初の所は三角から始まるのですよ。次は五角形、五角から今度は七角形。七というのは、プラネタリのその、土日月火水木金のこと。それからその後で、
今度は 13 が、あ、9 が入るかな。9 角形。9 は全てのナンバー。それから 13 が、つまりジーザスと１２の弟子。13 番。だから真言でも十三仏なるでしょう。
最高が虚空蔵菩薩、13 番。まぁこれをその、本で解析したら頭クラクラなります。
それをただじっと座って、座って、座ってそのうち、まぁゆっくり時間が来たら、読んでいったら良いと思いますよ。あの、Ｄさんが虚空蔵菩薩を彫ってくださるって。いや楽しみにしています。ま、そういう事で今日は。

【司会者】
はい。

【水源師】
まぁ、今回も少し縮めて、分かりやすくなったような、気がしますけど。明日はもっと縮めて、もっと分かりやすく、しようかなと思って（笑）。
だから、あの今日、絵を頂いたでしょう。ほとんど一緒で。ただここがね、赤。
あとは一緒。で髪の毛ももっと黒くて綺麗なかた。この方、こんな感じで現れました。で、この蓮の花の中に、こういう風に私たちは座っていました。　全員。私がこれ描いてくださいと言のじゃないですよ。

で、見ても見えなくても、この情景でしたよ。で、このあと、阿弥陀様がね、でっかい蓮の花の上にスーッと座られて、座っていました。それは当然でしょう。この阿弥陀様が降りてきている。

観音様の頭の白い衣が開いて、そこからと降りてきて座ったのです。金ではなく赤。朱色。火の、炎の色。アグニ、その火の。だからカルーナ。カルーナというのは慈悲。だからカルーナというのは大日如来の別名。だから観音様自体が全宇宙を持つという方で、それからこの宇宙は、観音様より作られた、と。だから観音様の目から、太陽と月が出たということも当然の事になるわけです。ところが私たちはもうちっちゃく、ちっちゃく、アリのように教えられたものだから。

あの、拒絶反応を起こすから、こういう風な絵とか、それから私の体験した事をお話しすれば、なんか、ここに合宿に長年来ている方は合点がいくけども、初めての方とか、本で読んだ場合には、もう空想小説を飛び越した何の話だろうかと（笑）。

というすごい実体に生きているのだけども、それ無くして生きているから無明が始まります、と。無明。当然無明しかないのですよ。無明。最初から外れてしまうから。

座る事で、年をとっても腰がやられない

こういう分かった事でも分からないのだから。で、過去延々と述べられた事も無視して、自分たちの都合の良い事ばっかり。つまり痛くない。あっち痛い、こっち痛い。痛くないソファーに座るでしょう。

車に乗るでしょう。足が痛い、歩きたくない、と。それでもう西洋の方ほとんど腰をやられている。30 代、40 代、50 代。で、私は分からないけど、凄いものらしいですよ、もう痛くて激痛が走って、それでディスクを入れ替たり。

それでオシッコも出来ないから、ベッドに穴開けて、うんこをしたりとか。若いのですよ。若くて。つまりその、だから座るという事はこれ、凄い事なのですね。

私もイスでの、仕事していたから、もう腰もおかしいなぁと思ってから、今度はもう一回、しっかり座り直したら、治りました。特に椅子の腰掛がダメなのですよ。それで筋肉がだんだん弱っていってね。それでその、筋肉が弱るから、骨にプレッシャーがかかって骨がやられる。

だからイスに座るにしても、後ろの腰掛、背中当てが無いやつはまだしも、良いのですけど。あの、それよりは布団の上でね、枕の上に座って、5 分でも座ったほうが、簡単。簡単で。筋肉を鍛えて。まぁ、そういう事で。

今日はこれで良いでしょうね。

年老いても元気なミャンマーの女性たち

水源禅師法話集 87

（2018 年 5 月 1 日　山梨合宿 5 日目）

2019 年 3 月 5 日発行

編集兼発行　一乗禅の会